

スカイセーフティネット

標準作業手順書

スカイテック株式会社

	作 業 内 容	安 全 対 策
準 備 工 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設計図より屋根高さ、勾配の確認。               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 梁長さの決定、ジョイント部の設定。</li> <li>(2) 脚部高さの設定。</li> </ol> </li> <li>2. 梁の配置図作成。               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) スパン調整位置の設定。</li> <li>(2) 末端部分の梁位置設定。</li> <li>(3) 材料仮置ステージの設定</li> </ol> </li> <li>3. 荷揚方法の検討               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エレベータ使用の場合 エレベータ寸法の確認</li> <li>(2) クレーン使用の場合 機種の確認</li> </ol> </li> </ol>	
本 工 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 荷揚前作業               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 梁材に脚部取付。 高さ・勾配固定</li> <li>(2) ジョイント部分ボルト仮付け。</li> <li>(3) 各ブロック毎に材料の仕分け。</li> <li>(4) クレーン使用可能の場合は地組。 (1ブロックの大きさを確認)</li> <li>(5) 組立順序に基づいた部材搬入。</li> </ol> </li> <li>2. 荷揚作業               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) エレベータ積載荷重の確認。</li> <li>(2) 組立順序の確認と荷揚順序の確認。</li> <li>(3) クレーン使用の場合。 制限荷重の確認。</li> </ol> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉掛位置の確認。</li> <li>・ ボルト締付け確認。</li>   <li>・ エレベータ内装及び通路の養生。</li> <li>・ 部材投げ落とし禁止。</li> <li>・ 玉掛資格者確認。</li> <li>・ 合図の確認。</li> <li>・ 安全ブロックの使用。</li> </ul>

	作 業 内 容	安 全 対 策
	<p>3. 組立作業</p> <p>(1) 荷揚げ取込部を起点とし、棟部分より軒先部分へ、左右対称に並行して組立てる。 作業手順図①→⑤ 2～3スパンを1ブロックとし、1ブロック完了後2ブロックを組立てる。以下同様に行う。</p> <p>(2) クレーンを使用し、地組をする場合も(1)と同様にブロック毎に組立て、繰り返し行う。</p> <p>4. 解体作業</p> <p>(1) 端部ブロックより組立作業の逆の順序で行う。</p> <p>(2) アンカー跡の処理は解体作業と並行して行う。</p> <p>(3) 片付け清掃は解体作業前に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全带及び安全ブロックの使用徹底。(状況に応じて親綱・ロリップを使用する。)</li> <li>・ 工具の滑落防止用ロープの使用。</li> <li>・ 部材の滑落防止。 (控え補助ロープの使用)</li> <li>・ 小運搬時の足元注意。</li> <li>・ 下部監視員の適正配置。</li> <li>・ 玉掛状況、ボルト締付状況の確認。</li> <li>・ 合図の確認。</li> <li>・ 控え補助ロープの使用。</li> <li>・ 軒先落下防止柵には、人は乗らないこと。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組立作業に準ずる。</li> </ul>

# 作業手順図

